

## ある日

ある日私は  
自分をいましめ  
引きずっても  
高めてくれる  
親がいいと思った

ある日私は  
自分をなぐさめ  
ふところに抱き  
眠らせてくれる  
親がいいと思った

ある日私は  
自分のそばにいて  
なにもせずに  
こたつねのように  
ねむりくらす  
親がいいと思った

ある日私は  
もうどうでもよく  
ただひたすら  
わたしの親であり  
いるだけでいいと  
親を思うようになった

そのときは  
もう  
いなかった。

せき ようこ  
関・洋子